

1. 北海道（地域別調査機関：（株）北海道二十一世紀総合研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	スーパー（企画担当）	・世界的な不況による景気後退は間違いないが、原油価格や穀物相場の下落による商品価格への反映が見込まれることから、消費自体は上向くことになる。輸入品の円高差益による価格低下との相乗効果で消費環境に明るさが見えてくる。
	変わらない	商店街（代表者）	・例年と比べて防寒物の動きが悪いことから、買い控えをしている客が、バーゲン時期に防寒物を買うことが多少見込まれるが、現在の状況から、例年ほどセールの勢いが続かないとみられるため、全体としては変わらない。
		スーパー（役員）	・建築土木を中心に倒産情報が増加していることから不安もあるが、ガソリンや灯油の価格が低下していることから、現状と変わらず推移する。
		コンビニ（エリア担当）	・客単価が前年を下回る状況が続いているが、売上は順調に推移している。行楽時期ではなく、ガソリンの価格も落ち着いてきたことから現状のままで推移する。
		コンビニ（エリア担当）	・冬のボーナスが見込めないため、高額商品やまとめ買いの需要が減少する。年末年始もアルコールを中心に低価格商品にシフトする。その一方で、ガソリンや灯油の価格が大きく低下していることから、消費マインドは若干上向くことが見込まれる。
		乗用車販売店（従業員）	・台替えサイクルが伸びてきている傾向にあることから、今後も変わらないまま推移する。
		その他専門店〔ガソリンスタンド〕（経営者）	・景気の減退ムードにより、自動車メンテナンスの経費が節約されているため、今後についても変わらないまま推移する。
		旅行代理店（従業員）	・1月以降の燃油サーチャージの値下げと円高で海外旅行に行きやすい環境になりつつあるが、景気全般の先行き不透明感により期待できない面もある。全体としてはプラスとマイナスの影響があるため、変わらないまま推移する。
		旅行代理店（従業員）	・先行き不安のなかで、旅行など非日常的な行動を差し控えているため、今後についても変わらないまま推移する。
		タクシー運転手	・灯油が下がっていること、寒くなることなどから、タクシーの利用が増える期待感はあるが、利用客の様子をみると、財布の中身を気にしている状況がうかがえるため、タクシー利用がどれだけ増えるのか分からない。全体としては変わらないまま推移する。
		タクシー運転手	・販促活動を行っても、売上の減少を少なくするのが精一杯の状況である。今後についても、売上が増える要素が見当たらず、現状維持ができれば良い方である。
	美容室（経営者）	・ガソリン、灯油の値下がりといった良い材料もあるが、全般に先行き不安が感じられているため、せっかくの明るい話題も相殺されている感が強い。結局、今後についても変わらないまま推移する。	
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・来客数、客単価共に回復の兆しがみられない。ボーナスの大幅カットや給料の減額、株の急落による損失を理由に、高額品の購入予定をキャンセルする客が増えていることから、今後についてはやや悪くなる。
		商店街（代表者）	・全体的な経済力の縮小から、購買意欲の冷え込みなどによる買い控えの傾向が今後ますます強くなる。定額給付金も総額は大きいですが、国民1人1人で考えると消費への効果は低い。
		商店街（代表者）	・氷まつり等のイベントの実施により、来街者の増加が見込まれるが、各店の売上への影響は、飲食店で若干の増加が見込める程度であり、物販店での増加はあまり見込めない。
		百貨店（販売促進担当）	・景気の悪さから、消費者はますます生活防衛に走り、更に景気は悪化する。この先、円高による効果が期待されるものの、手持ち資産の目減りなどの影響の方がはるかに大きく、高額品の売行きは回復はわずかなものにとどまる。
		百貨店（役員）	・米国発の金融不安の影響が尾を引いているが、灯油やガソリンの値下げが消費者マインドに安心感を与えている印象もある。ただ、12月商戦の盛り上がりはまだ感じられないことから、2～3か月後についてはやや悪くなる。
		スーパー（店長）	・ポイントカードによる販促を強力に進めていることから、今後も販売量が増えることが見込まれるが、売上の増加はあまり期待できない。

		スーパー（店長）	・生活防衛意識が高まっており、今後、客の買い控えが更に進む。
		スーパー（企画担当）	・客の低価格志向、節約志向が日々強まっている。牛肉から鶏肉、豚肉へと需要がシフトしているほか、ポジョレーヌーヴォーの販売状況も厳しい。これらのことから、今後については相当厳しくなることが見込まれる。
		スーパー（役員）	・今年に入って買上点数が減り続けている。これは値上げによる買い控えの影響が出ているためであり、今後についてもやや悪くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・世界的な金融不安や円高の影響で輸出産業が大きな痛手を被り、当地域の港からの輸出が大きく減少しているため、今後についてはやや悪くなる。
		衣料品専門店（店長）	・客自身の周囲でリストラや廃業が目につくようになってきているのか、今後を心配する声を聞く機会が増えているため、今後の景気が良くなるとは思えない。
		観光型ホテル（経営者）	・国内ツアー客の集客が停滞してきている。道内発着の航空便数の減少の影響も大きく、雪まつり時期以外は厳しい状況にある。湯治などの地元客の動きも、例年になく鈍い。
		観光名所（役員）	・本州間との航空便、フェリーの減便、台湾からのチャーター便の減少など、観光客の入込に対してマイナス材料ばかりの状況であることから、この先も当分厳しい状況が続く。
	悪くなる	スーパー（店長）	・ガソリン価格は低下しているが、不景気感が非常に強くなっていることから、消費者は無駄な消費をしなくなっており、今後については悪くなる。
		家電量販店（経営者）	・客の買い控えが強まっていることから、今後については悪くなる。
		家電量販店（地区統括部長）	・景気の先行き不安から、パソコンやオーディオといった高付加価値商品の需要が大きく落ち込んでおり、今後については悪くなる。また、薄型テレビの単価低下も懸念される。
		観光型ホテル（経営者）	・ガソリンや灯油の価格が落ち着いてきてはいるが、冬季賞与の支給を心配する声を良く聞く。景気が悪くなり、財布のひもが固くなれば、余暇に金をかけなくなるため、旅行等が最初に切り詰められることになる。また、円高の影響で外国人客も減少気味であるため、今後については悪くなる。
企業 動向 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	輸送業（経営者）	・競争相手が事業を縮小していること、燃料が安くなっていることから、今後についてはやや良くなる。
	変わらない		
	やや悪くなる	食料品製造業（役員）	・今後、原材料価格上昇分の販売価格への転嫁がそれなりに進むとみられるが、販売価格の上昇により受注量の減少が懸念される。また、価格転嫁の際に、規格変更で対応することになれば、生産性の低下にもつながる。
		金属製品製造業（経営者）	・円高の影響で、自動車メーカー等からの仕事が減っているため、今後の景気が良くなるとは思えない。
		金融業（企画担当）	・雇用や所得環境が厳しくなっており、個人消費の改善が見込めない。円高の影響で、東南アジアや豪州などからの外国人観光客の減少も懸念される。株価が持ち直し、企業、家計共にマインドが明るくならない限り、今後も厳しい状況が続く。
	悪くなる	建設業（経営者）	・今後、手持ち工事が完成することになるが、端境期であるため、新規の受注は官民共に見込めない。また、国際的な金融不安が実態経済にも波及していくなか、マインド面も相まって不況感が増幅していく。近年は景気対策として公共事業が行われることもほとんどなく、建設投資全体が縮小していくことが見込まれ、建設業界は超氷河期を迎えることになる。
		輸送業（支店長）	・金融機関がサブプライムローン問題の影響を大きく受けており、処理される取引先企業の噂も流れ始めている。道内の仕事量の減少と相まって、年明け以降に問題が発生することが懸念される。
		通信業（営業担当）	・取引先企業の多くから、下期から来期にかけての新規投資の抑制、計画の先延ばし等の話を聞く。景況感の一層の悪化を前提にした計画の見直しを行っている企業が多く、今後については悪くなる。
		司法書士	・景気回復の見込みがないため、土地の売買、建物の新築工事も減少傾向にあり、今後については更に悪くなる。
		その他サービス業 [システムハウス]（経営者）	・新たな案件が全くといっていいほど出てこない。

雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・退職者の補充を行わず、社内対応する企業が例年よりも多くみられるため、今後、雇用数が増えることは見込めない。
		職業安定所（職員）	・新規求人数が増加したが、数件の大量求人によるものであり、景気の先行きは依然として不透明である。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・求人数に関しては最低レベルの状態が何か月も継続的に続いている状況である。また、道外での期間従業員等の求人が激減しており、ゼロベースとなる日も近いとみられることから、今後についてはやや悪くなる。
		職業安定所（職員）	・解雇など、事業主都合による離職者が2か月連続で増加しており、今後、更に増加することが見込まれる。
	悪くなる	人材派遣会社（社員）	・経営者及び消費者の心理が冷え込んでおり、前向きな動きがみられない。人材派遣に関して、これまで拡大基調にあった販売職も、メーカーの業績悪化から、年末年始のキャンペーン予算が減少傾向にあり、冬期間の企業活動の低迷が心配される。